

科目名	生活の援助技術 I		時期	時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		1年次	前期	30時間 1単位
科目設定理由	看護は人間の健康に焦点をあて、あらゆる成長・発達段階にある個人、家族、集団、地域・社会の中で生活している人を対象とし、その人がもつ自らの力を最大限に発揮し、最期までその人らしく生きることを支援する。そのため看護師には、日常生活行動援助技術の重要性を理解したうえで、科学的根拠に基づき、対象の安全・安楽を考慮した看護を実践することが求められる。そこで、演習を通して、自己や他者の看護技術を省察することで、当該科目の看護技術を実施する姿勢、健康障害のある患者の看護に応用できる援助技術を修得するため当該科目を設定した。				
学習目標	1 対象の生活を整えるための病床環境の援助技術を修得する 2 対象の生活を整えるための活動と休息の援助技術を修得する				
修得する看護技術項目	No.1 快適な療養の整備 No.2 臥床患者のリネン交換 No.13 車椅子での移乗 No.14 歩行・移動介助 No.15 移乗介助 No.16 体位変換・保持 No.18 ストレッチャー移送 No.69 安楽な体位への調整				
授 業 計 画					
回数	項目	内容			備考
1	病室の環境と調整	1 療養生活の環境 2 病室の環境のアセスメントと調整 (1) 病室・病床の選択 (2) 温度・湿度 (3) 光と音 (4) 色彩 (5) 空気の清浄性について (6) 人的環境			講義
2~5	活動と休息	1 基本的活動の基礎知識 (1) 活動とは (2) よい姿勢 (3) ボディメカニクス 2 体位・保持 (1) 基本体位 (2) 特殊体位 3 移動 (体位変換、歩行、移乗、移送) (1) 援助の基礎知識 (2) 援助の実際 4 睡眠・休息の援助の基礎知識 (1) 睡眠の種類 (2) 睡眠制御のメカニズム (3) 睡眠障害のアセスメント (4) 睡眠・休息の援助方法			講義
6~10	環境調整援助技術	1 ベッド周囲の環境整備 (1) 援助の基礎知識 (2) 援助の実際 2 病床を整える援助技術 (1) ベッドメイキング (2) リネン交換			講義 演習 No.1 No.2
11~14	活動と休息の援助技術	1 活動と休息の援助技術 (1) 体位変換 (2) 移動 (歩行、車椅子の移乗・移送、ストレッチャーの移乗・移送)			演習 No.13 No.14 No.15 No.16 No.18 No.69
15	試験	まとめ			
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術II		有田 清子 他	医学書院	
	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術		任 和子 他	医学書院	
評価方法	筆記試験、演習への取り組み、課題レポートなどから総合的に評価する				